



# 令和5年度 宮前区地域デザイン会議

テーマ:「“みどり”でつながる宮前区  
～みどり×落ち葉～」



## 開催概要

日時：令和5（2023）年9月26日（火）14:00～16:00

場所：宮前区役所 健診ホール

## プログラム

開会／挨拶

- (1) 落ち葉の活用をテーマとした理由等について
- (2) 落ち葉に関する公園管理の現状と課題
- (3) 落ち葉の活用事例等の紹介
- (4) 落ち葉活用に向けたアイデア出し
- (5) 落ち葉活用に向けた意見交換
- (6) 落ち葉の活用に向けたイベントの実施について

挨拶／閉会

## 出席者一覧

---

### [ 市民出席者 ]

- ・ 社会福祉法人はぐるまの会 はぐるま稗原農園 施設長 新井 多佳夫さん
- ・ 野川はあも 会長 伊藤 菊代さん（欠席）
- ・ Rose Walk Gardeners 大島 京子さん
- ・ 自主保育 B.B だん 代表／冒険遊び場ネットワーク 大西 由紀野さん
- ・ 冒険遊び場ネットワーク 久保 浩子さん
- ・ 花の台町内会 美化部長／宮崎第4公園 公園緑地愛護会 斉藤 公子さん
- ・ 花の台町内会 副会長／宮崎第4公園 公園緑地愛護会 林 康さん
- ・ 野菜だいすきファーム代表／川崎市生ごみリサイクルリーダー 松下 長子さん
- ・ 宮前平こども文化センター 館長 鈴木 武さん

### [ 行政出席者 ]

- ・ 宮前区長 南
- ・ 宮前副区長 宮川
- ・ 宮前区道路公園センター所長 矢口
- ・ 宮前区道路公園センター担当課長 鈴木
- ・ 宮前区道路公園センター担当係長 加藤
- ・ 宮前区役所まちづくり推進部企画課課長 小出
- ・ 宮前区役所まちづくり推進部企画課担当係長 小西
- ・ 環境局生活環境部廃棄物政策担当 担当係長 山本

### [ 記録作成・進行補補助 ]

- ・ 石塚計画デザイン事務所 千葉、吉川、藤木

## 地域デザイン会議の様子



# 意見交換：落ち葉の活用に向けたご意見やアイデア

落ち葉の活用に向けたアイデア出しを実施しました。



## [ 意見交換の視点 ]

### 落ち葉を活用した堆肥づくりについて

- 落ち葉の堆肥化の他都市や区内の取組事例を踏まえての感想
- (落ち葉堆肥の経験者の方) 堆肥化を成功させる上でのポイントやコツ
- 落ち葉の堆肥化を行う上での課題
- 落ち葉堆肥の取組を区内に広げるにはどうしたらよいか (担い手、管理方法など)

など

### 落ち葉を活用した遊びについて

- 手軽にできる落ち葉や木の枝、どんぐりなど、公園で入手できるものを活用した遊びや工作
- 落ち葉等の活用に限らず、子どもたちが楽しめる遊び等
- ゲーム感覚で楽しめる落ち葉集めの方法

など

# 落ち葉を活用した、堆肥づくりのご意見・アイデア



## [ 堆肥づくりへのご意見 ]

- 落ち葉を堆肥化することはごみの減量につながって良い

## [ 堆肥づくりのポイント ]

- 落ち葉だけではなく、生ごみ堆肥を混ぜることで、堆肥化を効果的に進めることができる
  - ・落ち葉だけでは発酵が追いつかない
  - ・生ごみ堆肥等と混ぜるのは発酵が進み良いのではないかと。実感としてもスピードアップする
  - ・生ごみ堆肥などと合わせて堆肥化すると早くできるので今の時代には早く落ち葉を堆肥に、花や野菜を育てる過程が見えやすい
  - ・生ごみを入れてしまうと、公園の場合にはおおいが発生し近隣住民の迷惑になってしまう可能性があるため、落ち葉だけを使っている。また、生ごみの移動はできないのではないかと。
  - ・生ごみではなく、生ごみ堆肥であれば、においや虫の心配はない
- コンポストの枠は、竹などの自然素材を使うと良い

- ・自然素材を使って堆肥枠をつくる、虫やミミズ、微生物なくしては、堆肥はつukれない
- ・自然素材を使えば、微生物が入り込むことができる
- ・ケヤキは半年程度で堆肥になる。桜などが入ると時間がかかる

### ●花壇に使う場合の腐葉土づくりのポイント

- ・ケヤキの落ち葉だけで腐葉土づくり
- ・花壇の中の雑草、植え替え時の花枝他を混ぜての腐葉土づくり、EM菌、納豆菌、ぬかを使用しての腐葉土づくり
- ・出来上がった土は花壇に戻している

### ●落ち葉は毎年であるので、負担なく継続できるしくみをつくるのが大切！

#### [ 堆肥づくりの課題 ]

##### ●担い手の確保が課題

- ・課題は担い手、日々公園で活動している体操、花壇グループ等の人々の協力が必要
- ・公園で活動する人の協力が必要
- ・堆肥化にあたってリサイクルリーダーなどが点検していくのもありかと思う、区内の堆肥化を推進する人を置く
- ・堆肥マイスターを育てる！

##### ●堆肥化する場所の確保も検討が必要

- ・落ち葉は量が多く、堆肥化の際に処理する場に困るのではないか
- ・重さよりも容積が多いため、協力を得て、場の確保が必要
- ・土を里山等、山に返す方法はどうか
- ・公園の中に堆肥づくりのスポットをつくり、子どもの学びにつなげることで、公園の利用者の理解を得ることが大切

#### [ 落ち葉活用のアイデア ]

##### ●もっと気軽に堆肥づくりができるようにする

- ・もっと気楽な堆肥づくり、こうでなければならないということはない

##### ●堆肥づくりや土に触れることを通じて、子どもがいのちの循環を感じる体験をつくる

- ・落ち葉を堆肥にする作業を親子で行い、触れる
- ・子どもたちは堆肥枠づくりに参加したいようだった
- ・堆肥を活用して植物を育てる
- ・子どもが安全に楽しめるようにスタッフ等の大人は細心の注意を払うことが大切

##### ●土に触れる体験を増やす

- ・土の手触り体験、土と堆肥の時間で違ったらそれを触って実感する

- ・畑がある、土を耕せる公園があったら良い
- ・畑、花壇で利用、子ども企画にして落ち葉集めをし、公園内で使う

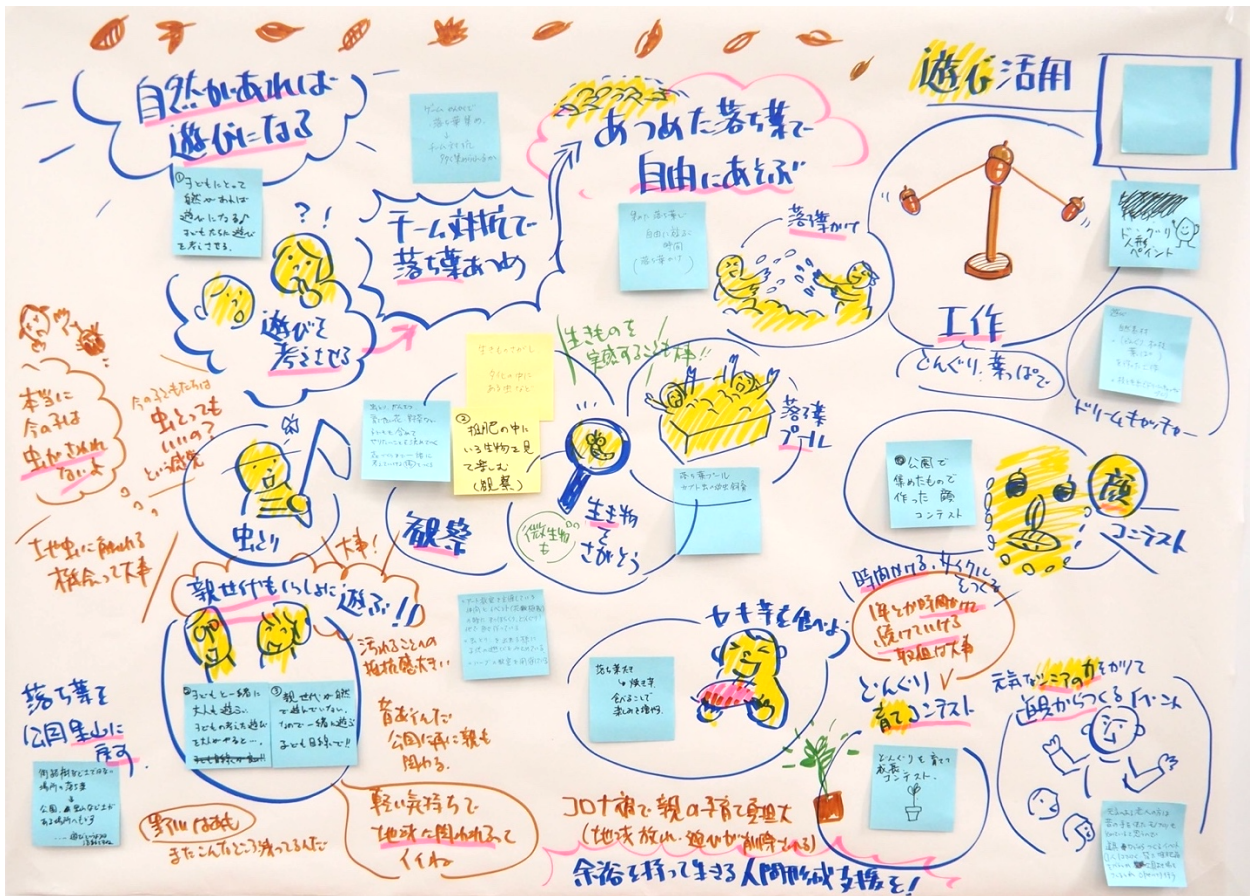
●公園清掃に子どもも参加する

- ・公園での清掃は、子どもたちは大変楽しんでいるようだ

●体験を通じて、楽しい！と感じることが大切

●取組のプロセスを発信して広げていく

落ち葉を活用した、遊びのアイデア



●自然があれば遊びになる

- ・子どもにとって自然があれば遊びになる

●子どもが遊びを考える

- ・子どもたちに遊びを考えさせる

## ●チーム対抗で落ち葉を集める

- ・ゲーム感覚で落ち葉集め、チーム対抗で多く集められるか

## ●集めた落ち葉で自由に遊ぶ

- ・落ち葉かけなど、集めた落ち葉で自由に遊ぶ時間

## ●落ち葉プールなどで、落ち葉に埋もれる体験を増やす

- ・落ち葉プール
- ・落ち葉に埋もれたことのある人を増やしたい。温度、質感、においを身近に感じてほしい

## ●ドリームキャッチャーやどんぐり笛などの、どんぐりや葉っぱを使った工作

- ・どんぐり人形ペイント
- ・どんぐり、木の枝、葉っぱなどの自然素材を使った工作
- ・枝と毛糸でドリームキャッチャーづくり
- ・どんぐり笛の普及：どんぐりをくり抜いた「どんぐり笛」をつくる

## ●虫とり

- ・今の子どもたちは虫をとってもいいの？という感覚
- ・本当に今の子は虫を触れない
- ・土や虫に触れる機会は大事

## ●堆肥の中にいる生き物を観察する

- ・虫とり、観察、育てたい花、野菜など子どもも含めてやりたいことを決めていく、森づくりまで一緒に考えていける場を作る
- ・堆肥の中にいる虫など、生き物探し
- ・堆肥の中にいる生物を見て楽しむ観察

## ●生き物や微生物を探す

- ・生き物を実感することも大事
- ・カブトムシの幼虫飼育

## ●公園の素材で顔をつくるコンテスト

- ・公園で集めたものでつくった顔コンテスト

## ●どんぐり育てるコンテスト（長期的なプロジェクト）

- ・どんぐりを育てる成長コンテスト
- ・1年など時間をかけて続けていける取組は大事
- ・時間をかける、サイクルをつくる

## ●元気なシニアの力を借りて道具からつくるイベント

- ・元気のあるご老人は昔の手を使ったものづくりを知っていると思うので、道具からつくるイベ



ント、○人1個ではなく皆で堆肥箱や工具置き場を作るなど、オープンにして行う

●**落ち葉を使って焼き芋をつくってみんなで食べる**

- ・落ち葉炊きで作った焼き芋を食べることで楽しみを増やす

●**親世代も一緒に遊ぶ**

- ・子どもと一緒に大人も遊ぶ、子どもの考えた遊びを大人がやると…
- ・親世代が自然で遊んでいないので、子ども目線で一緒に遊ぶ
- ・汚れることの抵抗感が大きい
- ・昔遊んだ公園に再び親も関わる
- ・軽い気持ちで地域に関われるっていいね
- ・コロナ禍で地域離れや遊びが削除されるなど親の子育て負担が大きく
- ・余裕を持って生きる人間形成支援を！
- ・宮前区にまだこんなところ残っているんだと感じた

●**落ち葉を公園、里山に戻す**

- ・街路樹など土ではない場所の落ち葉は公園や里山など土がある場所へ戻す